

平成26年度の事業の概況について

平成26年度は、『杜の都しんきん』第3次中期経営計画(平成24～26年度)の最終年度として、「最も相談しやすい地元のしんきん」の実現に向けて、①東日本大震災からの復興・再生支援に向けて、金融仲介機能を最大限に発揮する、②法令等を厳格に遵守した適切な業務運営に努める、③魅力ある信用金庫人として、役職員一人ひとりが自己研鑽を重ね、「人間力」を高めていく、ことの3点を基本方針(重要課題)として、鋭意取り組んでまいりました。

また、「大震災からの復旧・復興に取り組む地域社会の諸活動に、地元の信用金庫として最大限の支援を行っていく」ことを第一の柱に掲げ、そのために「徹底した顧客訪問」を実践するなかで、“地域社会の再生”を加速させるべく、お客さまの満足と信頼を得る金融サービスのご提供に努めてまいりました。

具体的な取り組みとしましては、営業店やお客さまのご要望等をワンストップでスピーディに対応するために、本部組織を一部変更し「営業部店サポート部」を創設しました。融資関連では、お客さまの資金ニーズに迅速に対応するため、無担保・無保証の『金運カードローン』を継続して取扱いするほか、教育や福祉・介護資金に低利でご利用できる『幸せ家族』の取扱いを開始

しました。住宅関連融資では、無担保住宅ローンの取り扱いを開始し、特に、「防災集団移転促進事業」による住宅資金には金利優遇で対応するなど積極的な資金供給に努めました。また、年末の資金需要期には、震災復興支援に向けた「休日相談窓口」を開設し資金需要のご相談に対応しました。

預金関連では、金利上乘せ定期積金「お祝い積金『福・禄・寿』」の募集増額や、期間限定で懸賞付定期預金、プレゼント付定期預金を取り扱うほか、宮城県内5金庫統一商品として「東日本大震災復興応援定期積金『しんきんの絆』」を取り扱い、募集総額の0.25%にあたる金額を「『しんきんの絆』復興応援プロジェクト」に寄附いたしました。

さらに、地域社会貢献として、仙台市が策定する「百年の杜づくり事業『新しいみどりの基本計画』」に賛同して寄附金を贈呈したほか、仙台市が開館した「仙台子ども体験プラザ」に協賛しブースを出展しました。文化貢献事業でも「ミレー展」や「室生寺展」などに協賛させていただきました。また、平成26年3月にリニューアルオープンしました北仙台支店内に、同年4月から相談窓口「ふれあいプラザ」を開設し、休日相談窓口の拡充を図りました。

≫ 『杜の都しんきん』第4次中期経営計画

平成27年度は、東日本大震災から4年あまりが経過しましたが、復興支援は未だ道半ばであり、地域金融機関として引き続き被災地域の復興、経済再生の基礎となる地域産業への支援を行っていくことが必要であります。そのような中、当金庫は、「地域社会の発展のために設立された地元の信用金庫」としての原点に立ち、被災地域の復興支援を加速するとともに、「地方創生」の推進に向けて、地域やお取引先のさらなる成長・発展に向けた

取り組みを第一の柱とする「第4次中期経営計画」(平成27年4月～平成30年3月)を策定し、将来を見据えて、どのような環境変化にも耐えうる経営体力の維持・向上に努めてまいります。また、人に「街」に優しく、そしてお客さまをたいせつにするという経営理念のもと、これまで以上にお客さまから信頼されるために、役職員一人ひとりが自己研鑽を重ね、「最も相談しやすい地元のしんきん」を目指して、地域社会の貢献に徹してまいります。

『杜の都しんきん』第4次中期経営計画 (平成27～29年度)

3つの柱

被災地域の復興支援を加速し、地域やお取引先の成長・発展を支援していくために、お客さまとのコミュニケーションを一層深化させ、真にお客さまの利益になる金融商品・サービスをタイムリーに提供し、お客さまのニーズに応える経営を行ってまいります。

地域社会やお取引先からの信頼を維持していくために、経営の透明性を高め健全な財務の確保等を目指すとともに、法令等を厳格に遵守した適切な業務運営を行ってまいります。

一人ひとりが今まで以上にお客さまから信頼される職員となるために、知識・ノウハウ等の共有化を目的とした研修制度の充実を図るほか、高齢者や女性の活躍促進に向けた職場環境の整備に努めてまいります。

目指すべき姿 地域経済社会への更なる貢献と健全経営の徹底

地域に貢献し、地域とともに成長する「最も相談しやすい地元のしんきん」を目指して

平成27年度事業計画 重要課題

被災地への継続的な復興支援とともに、お取引先や地域の成長・発展等に向けて、当金庫の独自性・特性を最大限に発揮してまいります。

「地域社会の発展のために設立された地元の信用金庫」としての原点に立ち、徹底した顧客訪問を継続実践し、顧客ニーズにスピーディに対応できるよう態勢整備を図ります。

- 1 お取引先や地域の成長・発展等に向けて、課題解決型金融の取り組みを強化するほか、様々なライフステージにあるお取引先の特性を適切に評価し、顧客ニーズに積極的かつスピーディに対応します。
(課題解決型金融サービスの推進強化)
- 2 お取引先の多種多様な相談にお応え出来るよう態勢整備に取り組むとともに、全役職員が日々の仕事に「創意工夫」して取り組み、何事にも積極果敢に挑戦します。
(金庫の独自性・特性の発揮)

健全な財務の確保を目指すとともに、法令等を厳格に遵守した適切な業務運営に努めてまいります。

経営の透明性の確保、経営の健全性の確保、内部管理態勢の整備等を図り、地域やお客さまからの信頼度を高めていくことを目指します。

- 1 お客さまの目線に立った経営を行っていくこととし、法令や業務上の諸規則等を厳格に遵守し、健全で適切な業務運営に徹します。
- 2 お客さまの利益保護と利便性向上のために顧客保護管理態勢の強化を図ります。

一人ひとりが今まで以上にお客さまから信頼される職員となるために、研修制度の充実と各人の自己研鑽を奨励してまいります。

厳しい経営環境のもとで、当金庫が永続的に存続していくために、意欲と情熱をもって課題解決に取り組む職員を育成します。

- 1 知識・ノウハウ等を習得するための研修制度の充実を図ります。
- 2 役職員一人ひとりが率先して自己研鑽に努めます。